

青少年を健全に育てよう

青少年の人格形成の上には、ろうということから、子どもにも、どのような健全な言動があるか、といった結果となつていくことが多

現代社会では、それが特に著しいものがある。おそれ、知らぬ若者の多い反面、子どもの養育についてあまりにも自信のないおとなも多

それと両親は新しい時代の教育というものがわからな

両者の意識のずれを多くし

心配ごと相談所と

民生委員

相談所は、生活に困った

民生委員とは、生活に困

民生委員とは、生活に困

民生委員とは、生活に困

不和と葛藤を生ぜしめて

いることも少なくない。こ

のような事情では、どのよ

うに社会が青少年の健全育

成のために努力しようかと

最も重要な人間形成の基盤

が確立されていなければならない

正しい愛情と信頼に立った

人間関係が家庭生活の中で

はなんらかの別の人間的結

合を求めて街頭に出て、や

がてら卒業の世界にひた

り、非行を犯す結果になるこ

がきわめて多い。

これら青少年をとりまく社

会環境に目をむけて、次代

をにやう青少年がすこやか

に育つようみなんで話し合

うようにしよう。

民生委員氏名 担当地域

金子 佐 富岡、高橋

宮崎三郎 原、津雲田

本多 一夫 和納一区、二

区 三区 和納四区、五

中 原 和納四区、五

佐藤九三 和納七区八区

後藤 義男 石瀬

後藤 さゆ 橋本

青柳 正彦 樋曾、尻引、

田子島 樋曾、尻引、

藤沢 栄 金池、久保田

阿部 夏井、西中、

北野、白鳥、南谷内、

西 島、湯上横曾根、

高 島、西船越、新谷、

五十嵐、高畑

油島、高畑

間瀬一区、二

区、三区

岡本 正明 間瀬四区五区

岡本 三郎 間瀬六区七区

幸村三三

この度の北陸地方一帯を襲った大豪雪にあたり、村民各

位の積極的な御協力と自主的な御努力に対しまして、紙

上をもつて深く感謝と敬意を表します。

村 長 佐藤 賢之輔

国民年金保険料の免除申請受付始まる

二十才から三十五才になるまでは毎月一〇〇円、三十五才からは毎月一五〇円を納める国民年金保険料の免除申請は次の要領で行な

比較所得の低い人。災害を受けて困窮している人など

保険料を納めることが苦しい人には、昨年同様本人の申請によって保険料の納付が免除されます。ご希望の方は厚生課へご相談下さい。

一、所得額及び固定資産の額

五人家族の平均世帯では前年の所得が十六万円以下

二、身体障害者と母子世帯

世帯主が身体障害者、または寡婦であるときは二万五千円を加算して、所得額は十八万五千円以下

三、災害、病氣

災害や、病氣などで特別の損失や出費のあった世帯には、別の方法で被保

四、保険料の免除期間

保険料の免除期間は原則として一年間です。

五、免除の特典

病氣やケガなどで、医師の初診を受けた日の月の初めまでの三ヶ月間まで被保険者期間が三年間引続き、被保険料の免除を受けているときは障害年金が支給されますが、免除を受けていないで保険料を滞納しているときは、何も支給されません。

この場合の障害年金額、一級は三万円、二級は二万四千元です。

雪害による伝染病予防(特に赤痢)と健康保持について

一月中旬より猛威を極めた雪害により、生鮮食品及び生活必需品、人の不足、疲労の蓄積、し尿、じんが、処理の不円滑に加之して、雪による伝染病、特に赤痢の悪条件が重なり、伝染病の多発が予測されます。

一、伝染病の予防

二、赤痢の予防

三、健康保持

四、衛生保持

五、食生活の改善

六、水の確保

七、排泄物の処理

八、消毒の徹底

九、休養の確保

十、情報の収集

第一表 昭和36年度市町村別人口動態統計

市町村	出生		死亡		自然増加		人口
	実数	率	実数	率	実数	率	
市町村計	756	20.1	246	6.6	510	13.6	37,547
燕岩	137	13.3	93	9.1	44	4.3	10,251
室田	91	12.1	72	9.6	19	2.5	7,490
水田	222	13.6	117	7.2	105	6.5	16,284
吉田	336	17.9	136	7.2	200	10.7	18,782
吉野	464	16.6	231	8.2	233	8.3	28,035
西川	168	15.2	87	7.9	81	7.3	11,053
黒川	257	18.1	113	8.0	144	10.2	14,173
黒川	78	14.1	38	6.9	40	7.2	5,546
黒川	139	18.6	62	8.3	77	10.3	7,487
黒川	66	15.4	29	6.8	37	8.6	4,287
黒川	120	16.6	53	7.3	67	9.3	7,233
中計	2,834	16.9	1,277	7.6	1,557	9.3	168,168

人口は昭和35年国勢調査の数字である。

率は人口1,000対である。

人口動態統計

人口動態統計とは、結婚や離婚、また死産があった場合、それらの届出が行なわれ、届出によって、これら五種類の届出が必要事項を詳しく調査するものが「人口動態調査」であり、この調査によって得た資料を総じて「人口動態統計」とあります。

人口動態統計は、この人口の動きや、その動きの行政や、社会活動の大きな原因と結果を知るために、

希望の本があつたらどうぞ

希望の本があつたらどうぞ

希望の本があつたらどうぞ

希望の本があつたらどうぞ

防火栓は必ず守りましょう

防火栓は必ず守りましょう

防火栓は必ず守りましょう

防火栓は必ず守りましょう

第三期分税金

第三期分税金

第三期分税金

第三期分税金